

佐野短期大学シラバス2014

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
表計算演習 Spreadsheet software practice		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(上級情報処理士必修)	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
稲見 崇 司	本館2階	授業中に指示します		授業中に指示します
授業の概要				
規定課題により、より高レベルへ表計算ソフトの利活用能力を高める学習を進める。単独の機能として学ぶばかりでなく、他のソフトとの連携機能もあわせて学習する。また、コンピュータリテラシーで学んでいない難度の高いコマンドも演習課題に盛り込み応用力を高めていく。なお、自ら自由に発想した自由課題の提出も求める。				
授業の目標				
①表計算ソフトの各々の機能を総合的に利活用できる応用力を身につけることができるようにする。 ②応用発想の具体的実現のために、適切に機能を選択できる能力を身につけることができるようにする。 ③アプリケーション作成作業の最適化を図る能力を身につけることができるようにする。				
授業の方法				
規定課題は毎回スクリーン上で演習題材の説明後、指示に従って順序よく操作していけば表が完成していくように指導する。自由課題は自ら題材を考えて表の設計製作ができるよう指導する。				
学習の成果(学習成果)				
表計算ソフトの各々の機能を総合的に活用して、自ら業務対応のアプリケーションを作成するにあたり、より適切に機能を選択し、最適化を図ることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス(シラバスに沿って授業のねらいと進め方、受講の心得の指導)			
第2回目	目標となる事例提示			
第3回目	基本理解1 基本機能の復習・ワード連携機能の学習			
第4回目	基本理解2 効果的なグラフ選択・表示手法学習			
第5回目	基本理解3 関数と絶対参照含む表作成複合課題実習			
第6回目	基本理解4 参照引用関数利用データベース機能学習			

第7回目	応用1 参照引用関数による応用規定課題実習1		
第8回目	応用2 参照引用関数による応用規定課題実習2		
第9回目	応用3 マクロによるアプリケーション事例学習		
第10回目	応用4 画像の取り込みと応用課題実習		
第11回目	事例研究1 実用製品のアプリケーション事例学習		
第12回目	事例研究2 自分で作る自由課題のアプリケーション事例設計		
第13回目	事例研究3 自分で作る自由課題のアプリケーション事例作成		
第14回目	事例研究4 自分で作る自由課題のアプリケーション事例作成・提出		
第15回目	事例研究5 自由課題作品プレゼンテーション		
成績評価の方法と基準			
	評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度			
レポート	100%		規定課題(指示が全て盛り込まれて満点)が80%、自由課題(機能ミスなしで難易度によらず満点)が20%で採点する。
調査報告書			
小テスト			
試験			
発表内容(態度含む)			
その他			
教科書と参考図書			
特に指定せず、各回ごとにその題材に従った資料をプロジェクターで表示し、課題を指示する。			
履修上の留意点・ルール			
特になし			